

3⁻²

アウトラインをつくる

アウトラインとは、プレゼンテーションの骨組みです。序論で何を述べ、本論で何をどのような流れで説明し、どのような結論(まとめ)にするのかを見出しをつけながら考え、書き出してみます。決められた時間内で主要なポイントを聴き手に伝えられるように、**情報を整理し、論理的に説明**できる流れを考えましょう。

アウトラインの構成とポイント

| | |
|----|--|
| 序論 | <ul style="list-style-type: none"> 発表の目的 なぜこのテーマを扱うのか 問題(テーマについて立てた問い)は何か |
| 本論 | <ul style="list-style-type: none"> 問題に対する主要なポイントを明確にする 主要ポイントの根拠をあげて論理的に説明する |
| 結論 | <ul style="list-style-type: none"> 何が明らかになったのか テーマに関する最終的なまとめや主張 |

※ 構成については、『Master of Writing(2. レポートの構成)』に詳しく掲載していますので、この冊子と併せて参考にしてください。

アウトラインの一例

プレゼンテーション課題: 学校文化について

自分で考えたプレゼンテーションのテーマ: 「学校における児童生徒による掃除活動は継続すべきか？」

| | | |
|----|---|--|
| 序論 | <p>1. はじめに</p> <p>1-1 なぜこのテーマを選んだのか【テーマを選んだ理由】</p> <p>1-2 学校掃除は何のために行うのだろうか？【問題提起】</p> <p>1-3 学校掃除を生徒が担うことに対する様々な議論を紹介する【問題の背景】</p> <p>1-4 学校掃除には特有の教育的意義があるのではないかと【結論の明示】</p> | <p>序論では問題提起をして、結論を明示しましょう</p> |
| 本論 | <p>2. 日本の学校掃除をめぐる議論</p> <p>2-1 学校掃除の歴史</p> <p>2-2 外国との比較を通じた日本の特徴について</p> <p>3. 学校掃除が持つ教育的意義</p> <p>3-1 協調する態度の育成</p> <p>3-2 健康的な生活を送る態度の育成</p> <p>3-3 衛生観念に関する知識の獲得</p> <p>4. 生徒が学校掃除を行うことの課題</p> <p>4-1 掃除の取り組み方による教員と生徒の意識のギャップ</p> <p>4-2 掃除ロボットの普及や少子化による掃除の担い手の減少</p> | <p>提起した問題に対してどのような議論や先行研究の蓄積がなされているのかについて説明します</p> |
| 結論 | <p>5. おわりに</p> <ul style="list-style-type: none"> 掃除を生徒が担うことに教育的意義があった【明らかになった知見】 「掃除活動」に教育的意義を見出し、学習機会として活用できる【問題に対する自分の主張①】 掃除に対する認識や慣習の変化に応じて、学校掃除について問い続けることが重要である【問題に対する自分の主張②】 | <p>自分の主張の根拠となるデータや事実、先行研究を挙げて、論理的に結論に導きます</p> |
| | | <p>結論では、本論で明らかになった知見をもとに、序論で提起した問題にしっかりと答えましょう</p> |